

年度	2022	開講学期	前期集中	単位数	1	時間割コード	A931
授業科目名	牧場実習			担当教員名	築城 幹典		
授業科目名：英語	Ranch Practicum						
重複科目名							
セット科目名							
開講情報		曜日	時限	時間割コード		【凡例】 ：当該科目 ：同時に履修すべき 科目（セット科目）	
				A931			
主な対象学生	農学部 動物科学科 3						
科目の情報	科目の種別	専門教育科目		科目番号	AAS319B		
主な使用言語	Japanese						
履修上の条件	附属御明神牧場と葛巻畜産公社において実習を行う。主たる担当教員は平田統一先生（附属御明神牧場）と非常勤講師の中村哲雄先生（葛巻畜産公社）です。						
担当教員情報	氏名（カナ）	築城 幹典（ツヅキミクリ）					
	担当教員名（英語）	Tsuiki Mikinori					
	所属	農学部					
	常勤・非常勤						
	研究室	農 - 3 - 1 1 7					
	公式サイト	岩手大学 研究者総覧：http://univdb.iwate-u.ac.jp/html/364_ja.html researchmap：https://researchmap.jp/read0192804					
	個人サイト						
相談可能時間	実習終了後						
他の担当教員							
キーワード	COC						
学位授与方針との関係	牧場実習を体験することは、動物科学科を専攻する学生に必須である。この科目は、動物科学科の学位授与方針における専門分野の基礎的な知識を身につけるに該当する。			学位授与の方針			
				知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現
				25%	25%	25%	25%
授業の目的	<p>農学は自然と人間との関わりを探究し「人」の立場から自然を継続的に利用して、両者の共存を模索する総合的な学問であると捉えることができる。その典型的で伝統的な例は農林業などの一次産業に対する農学の寄与である。近年の学問の急激な発展と大学院教育の重視により各自の学問的な興味や実験手法、理論立てがきわめて専門性の高い狭い範囲に限定されることは一面では当然のことであるが、農学部在籍者は自然科学の利用、人間の営みと学問の有り様との関係に対する興味を持ち続けるべきであると考えられる。</p> <p>牧場実習は、実際に家畜に接し、飼料作りを体験することによって人間の営みである畜産業と農学との関わりについて、そして自ら農学部で勉強する意味について考える機会を与えることを目的とする。本科目は、「地域をテーマとした学修科目」の一つである。</p>						
到達目標	本実習は農学部附属御明神牧場と学外の公共牧場において実施する。実習に先立ち、実習に関わる説明と講義を行う。学外実習では、多角的な牧場経営の実際を学ぶとともに、農村、畜産、流通の現状について認識を深める。また地域が抱えている問題について、いくつか具体例を挙げるができる。						
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 附属御明神牧場における実習（説明会と3泊4日の実習）</li> <li>2. 葛巻畜産開発公社における実習（説明会と1泊2日の見学、実習）</li> </ol>						
実務経験の有無と授業内容への反映							
授業の形式	宿泊実習。数名程度の班を編成して実際に手足を動かし作業を行う体験実習。						
授業時間外の学習/予習・復習	日本の畜産の現状について図書館等を利用して知識を得ておくこと。						
詳細計画（各回または週の具体的な授業内容、目標など）							
回/週	授業内容			予習・復習			備考
1	本実習は農学部附属御明神牧場（春期および夏期）と学外の公共牧場において実施する。実習に先立ち、実習に関わる説明と講義を行う。学外実習では、多角的な牧場経営の実際を学ぶとともに、農村、畜産、流通の現状について認識を深める。			実習内容を教科書などで復習する。			
2	1. 附属御明神牧場における実習（説明会と3泊4日の実習）			実習内容を教科書などで復習する。			
3	1-1. 家畜の飼養管理（夏期：放牧型、春期：舎飼型）			実習内容を教科書などで復習する。			
4	1-2. 放牧対策（牧柵の修繕など）			実習内容を教科書などで復習する。			
5	1-3. 粗飼料調製（サイレージ、乾草調製）			実習内容を教科書などで復習する。			

5	ど)					
6	1-4 . 家畜の健康管理 ( 体重測定、駆虫剤の投与、削蹄など)	実習内容を教科書などで復習する。				
7	1-5 . 草地更新 ( 堆肥散布、耕起、播種など)	実習内容を教科書などで復習する。				
8	1-6 . 放牧地対策 ( 雑草除去など)	実習内容を教科書などで復習する。				
9	1-7 . 家畜の繁殖管理 ( 去勢、人工授精見学など)	実習内容を教科書などで復習する。				
10	1-8 . 羊の毛刈り 注：家畜の飼養状況や作業の進捗状況によって実習内容が変更される場合がある。 2 . 葛巻畜産公社における	実習内容を教科書などで復習する。				
11	2 . 葛巻畜産公社における実習 ( 公社概況や畜産業情勢の説明会と1泊2日の実習)	実習内容を教科書などで復習する。				
12	2-1 則尺、除角、去勢の実技。	実習内容を教科書などで復習する。				
13	2-2 草地管理。	実習内容を教科書などで復習する。				
14	2-3 畜産施設の見学；とくに飼料貯蔵施設、乳牛舎、肉牛舎、糞尿処理施設など。	実習内容を教科書などで復習する。				
15	レポート、ならびにアンケートの提出	実習内容を教科書などで復習する。				
16						
17						
18						
成績評価の方法と基準	評価方法	割合	評価観点			
			関心・意欲	知識・理解	技能・表現	思考・判断
	平常点	80%	重視	重視	重視	重視
	iカード	0%				
	小テスト	0%				
課題	20%	重視	重視	重視	重視	
期末テスト	0%					
評価の基準 ( 具体的に )						
本実習は、野外における実際的な畜産経営の見学、実習 ( とくに飼料貯蔵施設、乳牛舎、肉牛舎、糞尿処理施設など ) を併せて単位とし、当該課程の担当教員が可否を判断する。原則として、出席 ( 遅刻の有無を含む )、レポートで評価する。また、平素の実習態度についても評価の対象とする。						
履修における留意点	大型農業機械の運転や大動物の取り扱いに当たっては事故防止のため指導教員等の指示に従うこと。宿泊に当たっては健康と快適な生活、備品の保全のために宿泊ルールと指導教員等の指示に従うこと。					
教科書 / 教材						
参考文献						
コースリザーブ図書						